

共に歩んだ夫婦の絆

ダイヤモンド婚・金婚式表彰

9月30日に氷川町文化センター講堂でダイヤモンド婚夫婦表彰式および熊日金婚夫婦表彰伝達式が行われました。

本年度は、ダイヤモンド婚(昭和31年に結婚されたご夫婦)17組中15組、金婚(昭和41年に結婚されたご夫婦)35組中30組の方が式に出席、表彰を受けられました。

出席されたダイヤモンド婚ご夫婦に藤本町長から、金婚ご夫婦には平岡熊日八代支社長からそれぞれ表彰状と記念品が手渡されました。

また、出席された被表彰者を代表して、ダイヤモンド婚 太田邦博さん(新田)が謝辞を述べられました。

◆ダイヤモンド婚 17組

- | | |
|------------|---------|
| 今田 一幸・幸子 | (島 地) |
| 上村 静喜・ヨシ子 | (有 佐) |
| 上 部 進・弘子 | (南 鹿 野) |
| 太田 邦博・ノブ子 | (新 田) |
| 岡田 一喜・ナナ子 | (柊) |
| 河野 健男・ヒサ子 | (北 鹿 野) |
| 田 島 行光・トシ子 | (笹 尾) |
| 田 中 實・宮子 | (新 村 北) |
| 中 島 昭之・チツ子 | (笹 尾) |
| 野田 勇・康子 | (法 道 寺) |
| 橋本 健・ミネ子 | (新 村 南) |
| 林田 孝介・勝子 | (西 野 津) |
| 星田 義治・節子 | (下 宮) |
| 宮崎 忠則・ツヤ子 | (西 網 道) |
| 宮村 司・恵子 | (北 川) |
| 山高 和俊・チホ | (北 野 津) |
| 吉永 道治・ナツエ | (有 佐) |



▲ダイヤモンド婚表彰者の皆さま

◆金婚 35組

- | | |
|------------|---------|
| 赤星 健二・妙子 | (沖 塘) |
| 泉 強・富美江 | (宮 園) |
| 一森 勝行・登美子 | (若 洲) |
| 今田 澄夫・千代香 | (島 地) |
| 岩岡 十一・ケイ子 | (中 大 野) |
| 岩野 雅利・カズメ | (吉 本) |
| 岩村 重明・美恵子 | (高 野 道) |
| 賀久 隆・幸子 | (高 塚) |
| 櫻山 教昭・美智子 | (新 村 南) |
| 坂本 輝雄・ヒサ子 | (早 尾 北) |
| 白石 政志・千加子 | (吉 本) |
| 白丸 隆満・トヨ子 | (北 野 津) |
| 田河 覺・トシ子 | (柳 の 江) |
| 田河 正俊・ミチ子 | (北 鹿 野) |
| 田 島 誠一・ツヤ子 | (北 野 津) |
| 中川 亮一・弘子 | (北 川) |
| 中 島 和人・八重子 | (高 野 道) |
| 中島順之助・良子 | (中 大 野) |
| 中島日出征・幸子 | (柳 の 江) |
| 中野 文夫・アサ子 | (法 道 寺) |
| 服崎 節男・多鶴子 | (早 尾 北) |
| 平山 俊春・美智子 | (反 甫) |
| 広田 剛・佳子 | (西 野 津) |
| 福田 勲・榮子 | (北 鹿 野) |
| 藤井 豊・鏡子 | (北 鹿 野) |
| 古里 淳市・幸子 | (新 村 北) |
| 本田 幸生・ミツエ | (本 山) |
| 前橋 照雄・祥子 | (高 塚) |
| 前村 茂義・ミヨ子 | (上 鹿 島) |



▲金婚表彰者の皆さま

- | | |
|-----------|---------|
| 光田 鍊一・トミ | (河 原) |
| 南 勲・京子 | (今) |
| 森崎玖美男・セツ子 | (西 網 道) |
| 山口 邦紘・春美 | (若 洲) |
| 山野 茂・節子 | (柳 の 江) |
| 山本 勝久・美智子 | (柊) |
- ※50音順・敬省略

健康に感謝 長寿を祝福
敬老会

9月19日、氷川町公民館および竜北体育センターにおいて、敬老会が行われました。

式典では、小学生による敬老作文発表や老人クラブ連合会による交通安全宣言が行われ、その後は敬老会員を代表して老人クラブ連合会の小野一成会長(西上宮)が謝辞を述べられました。

式典終了後は、保育園など各種団体のアトラクションが行われ、式典に華を添えました。

参加者からは「来年も参加できるように、健康で長生きせんば。」との声が多く聞かれました。



▲謝辞を述べられる小野会長



▲氷川中生徒による「ソーラン節」

友好町大空町との交流

9月20日から4日間の日程で、友好町である北海道大空町との交流事業が行われました。

今年度は、両町共通のイベントであるマラソンをテーマにした交流を行い、7人の大空町訪問団のうち5名の方に梨マラソンに参加していただきました。北海道ではありえないような入り組んだコースに戸惑いながらも、たいへん楽しんで走られました。

また期間中には、道の駅での特産品の販売や、みかんや梨の収穫体験などを行い、北海道とは異なる自然や地域性を感じてもらいながら、多くの人と交流を深められました。

今後、この事業を継続して交流を深めてまいります。



▲大空町交流団の皆さん(立神峡)



▲みかんの収穫を体験



▲大空町の特産品をPR(道の駅「竜北」)